

# Xplova X3

GPS サイクリング コンピュータ  
ユーザー マニュアル

***xplova***

# 目次

---

<b>X3 について</b>	<b>3</b>	一時停止および続行	19
画面およびボタンの説明	3	ページの切り替え	20
取り付け説明	4	ラップ	20
取り付け手順	4	記録の終了	20
取り外し手順	4	アクティビティの表示	21
初期設定	4	走行データのアップロード	22
時刻の設定	5	Xplova Connect アプリの	
GPS について	5	ダウンロード	22
ディスプレイの設定	6	Xplova Connect アプリからの	
自転車の登録	6	アップロード	22
ANT+ センサーの接続	8	USB からのアップロード	22
X3 のモード画面のカスタマイズ	9	<b>その他機能</b>	<b>23</b>
ページ選択	9	モード切り替え	23
ページ設定	10	新規自転車の追加	23
自動機能	13	<b>節電オプション</b>	<b>24</b>
自動保存	13	自動電源オフ	24
自動停止	13	自動スタンバイ	25
自動ラップ	14	GPS 節電モード	25
自動ページ切り替え	15	手動の一時停止	26
高さページ（高度）	15	センサーからの速度	26
<b>トレーニング強度の設定</b>	<b>16</b>	充電について	26
トレーニング区間	16	<b>X3 ファームウェアのアップグ</b>	
アラームの設定	17	<b>レード</b>	<b>27</b>
<b>ルート</b>	<b>18</b>	ファームウェアの入手	27
過去の経路	18	お使いのコンピュータと X3 を	
マイルート	19	接続します	27
走行開始	19	<b>仕様</b>	<b>28</b>
		<b>安全に関するご注意</b>	<b>29</b>

# X3 について



注：

このユーザー マニュアルに記載される情報は、将来予告なく変更される場合があります。

## 画面およびボタンの説明

<p>A. ステータス フィールド B. メインメニュー C. ボタン プロンプト フィールド D. 右ボタン：下へスクロール / 次のページに移動 E. 中央ボタン：確認 / 走行開始 / ラップ / タイマー停止 / タイマー再開 F. 左ボタン（電源ボタン）：電源オン / 前のページに戻る / 電源オフ（長押し）</p>	<p>A. ステータス フィールド B. メインメニュー C. ボタン プロンプト フィールド D. 右ボタン：下へスクロール / 次のページに移動 E. 中央ボタン：確認 / 走行開始 / ラップ / タイマー停止 / タイマー再開 F. 左ボタン（電源ボタン）：電源オン / 前のページに戻る / 電源オフ（長押し）</p>
<p>G. バイクマウント用ツメ H. Micro USB ポート</p>	<p>G. バイクマウント用ツメ H. Micro USB ポート</p>



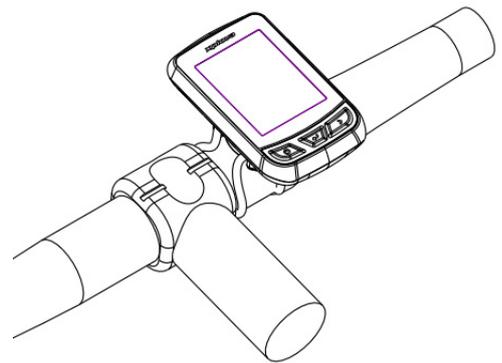
注：

ボタン操作の内容は、機能により異なる場合があります。画面の下部に表示されている「ボタン プロンプト フィールド」をご覧ください。

## 取り付け説明

### ■ 取り付け手順

1. ゴムパッドの上にバイク マウントを重ねます。その後、ハンドルの上に置きます。
2. バイク マウントの1つのタブから、ゴムバンドをループさせます。ゴムバンドの端をバイク ハンドルの下および他方のタブまで延ばし、バイク マウントを確実に固定します。
3. X3 背面のラッチをバイク マウントのノッチに合わせます。X3 をわずかに押し、ロックされるまで回します。



### ■ 取り外し手順

1. ラッチのロックが解除されるまで、X3 を回します。
2. X3 を取り外します。

## 初期設定

最初に X3 をオンにすると、初期設定が行われます。画面に表示されている順番に従って、言語、性別、体重、身長を入力してください。

数値設定を行う際には、画面の下部のボタンプロンプトを参照します。右ボタン（次へ）を使用すると、各数値の切り替えおよびステータスの保存を行うことができます。また、中央ボタンでは、数値の増・減を操作できます。数値設定を行った後、右ボタンを押して、ステータスを確定し、中央ボタンを押して保存します。

Language	ユーザープロフィール	
English	性別	男性
Italiano	年齢	28年齢
Français	体重	70kg
Español	身長	175cm
OK Next↓	戻る OK 次へ	

年齢
28
保存
戻る OK 次へ

年齢
28 ▲
保存
(+) (-) 次へ

体重
070
保存
戻る OK 次へ

身長
175
保存
戻る OK 次へ

## 時刻の設定

Xplova X3には、高度で精密なGPSレシーバが内蔵されています。X3はGPS信号を受信すると、自動的に時間を設定しますが、地域に応じたタイムゾーンおよび夏時間は、ユーザーが設定する必要があります。

1. [次へ]を押して、[設定]を選択します。[OK]を押して、[設定]メニューを開きます。
2. [設定]メニューに移動し、[時刻設定]を選択します。
  - 必要に応じて時間の形式を変更し、タイムゾーンを選択します。(日本のタイムゾーンは+9:00です)
  - X3はGPS信号を受信すると自動的に時間を調整します。



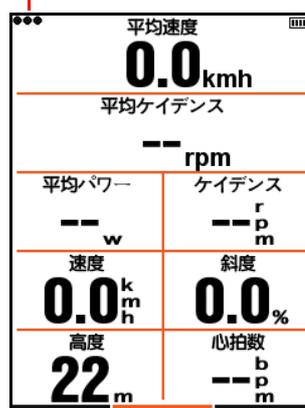
## GPSについて

X3は電源がオンになると自動的に衛星を検索します。屋外の開けた場所の方が衛星を捕捉しやすいです。GPSは最初の衛星の受信に、30秒～2分ほどを要します。定常状態では、GPSの検索時間を短縮できます。

メニュー画面で、左ボタンを押して、サイクリング画面を切り替えます。画面の左側のアイコンでも、現在の衛星信号の強度を表示できます。

GPS信号ビューは、現在の衛星信号の状況を表示できます。

衛星信号の強度



	信号：良好
	信号：普通
	信号なし
	GPS オフ

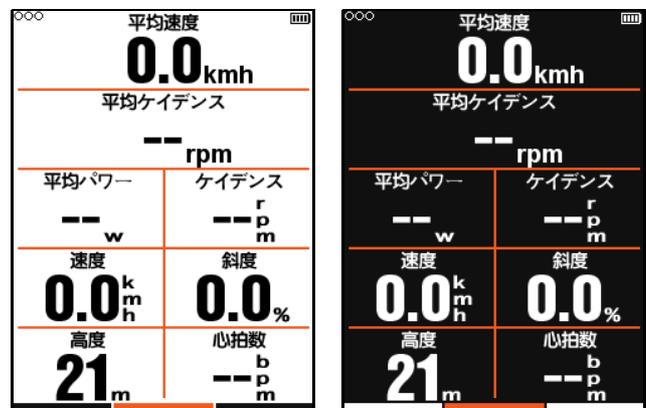
## ディスプレイの設定

メインメニュー画面の[次へ]を押して、[設定]を選択します。バックライト時間および明るさは、[ディスプレイ]で調整できます。



[ステータス表示]では、衛星信号、記録ステータス、電源アイコンを画面の上部に表示するかどうかを設定できます。

[カラーモード]は、白地に黒（日中）、黒地に白（夜間）を設定できます。または、ロック時間に基づいて自動的に切り替えられます。



カラーモード - 日中

カラーモード - 夜間



注：

[日中ブライト]は、サイクリング画面にのみ適用され、メニュー画面のバックライトの明るさ日中では100%に設定されます。

## 自転車の登録

速度センサーを使用する場合、ホイールサイズ（タイヤ外周長）から速度および走行距離を計算します。また、ホイールサイズは以下のように設定されます。

1. メインメニュー画面で[次へ]を押して、[自転車]を選択し、[OK]を押して、[自転車]メニューを入力します。
2. 順に[自転車1]を選択し、適切なホイールサイズ情報を入力します。



ホイールサイズ：

ホイールサイズ	長さ (mm)
12 x 1.75	935
14 x 1.5	1020
14 x 1.75	1055
16 x 1.5	1185
16 x 1.75	1195
18 x 1.5	1340
18 x 1.75	1350
20 x 1.75	1515
20 x 1-3/8	1615
22 x 1-3/8	1770
22 x 1-1/2	1785
24 x 1	1753
24x3/4 Tubular	1785
24 x 1-1/8	1795
24 x 1-1/4	1905
24 x 1.75	1890
24 x 2.00	1925
24 x 2.125	1965
26 x 7/8	1920
26 x 1(59)	1913
26 x 1(65)	1952
26 x 1.25	1953
26 x 1-1/8	1970
26 x 1-3/8	2068
26 x 1-1/2	2100
26 x 1.40	2005
26 x 1.50	2010

ホイールサイズ	長さ (mm)
26 x 1.75	2023
26 x 1.95	2050
26 x 2.00	2055
26 x 2.10	2068
26 x 2.125	2070
26 x 2.35	2083
26 x 3.00	2170
27 x 1	2145
27 x 1-1/8	2155
27 x 1-1/4	2161
27 x 1-3/8	2169
650 x 35A	2090
650 x 38A	2125
650 x 38B	2105
700 x 18C	2070
700 x 19C	2080
700 x 20C	2086
700 x 23C	2096
700 x 25C	2105
700 x 28C	2136
700 x 30C	2170
700 x 32C	2155
700C Tubular	2130
700 x 35C	2168
700 x 38C	2180
700 x 40C	2200

**注：**

実際のホイールサイズは、タイヤブランド、タイヤの空気圧、タイヤによって異なることがあります。

## ANT+ センサーの接続

初めてセンサーを使用する際には、速度、ケイデンス センサー、心拍数モニターなどの周辺デバイスをペアリングしてください。コンボ センサーまたは速度センサーは天候や地形の影響を受けません。正確な速度および距離データを確認することができます。

1. メインメニュー画面で[次へ]を押して、  
[センサー]を選択し、[OK]を押して、  
[センサー]メニューを入力します。



2. [すべて検索]を選択するか、個々にセンサーを検索します。



### 注：

[すべて検索]機処理中は、ボタン操作が無効となります。

各センサーはペアリング番号を持ち、正しくペアリングした後に信号を安全に受け取ることができます。

接続に成功すると、番号が関連のセンサーに表示されます。接続されているデバイスはメニュー上部にアイコンが表示されます。

個々での設定では、それぞれ異なるデバイスに接続できます。

一度ペアリングを行えば、次回からはデバイスの電源を入れると自動的に接続されます。

ステータス フィールドのすべてのアイコンの説明を以下に示します。



## X3 のモード画面のカスタマイズ

[モード] メニューでは、設定によって X3 上の各フィールドで表示されるページ、データフィールド、コンテンツの設定を行うことができます。

### ■ ページ選択

メインメニュー画面上の [次へ] を押して、[モード] を選択し、自転車モードを選択してセットアップします（使用しているモードは★シンボルでマークされます）。



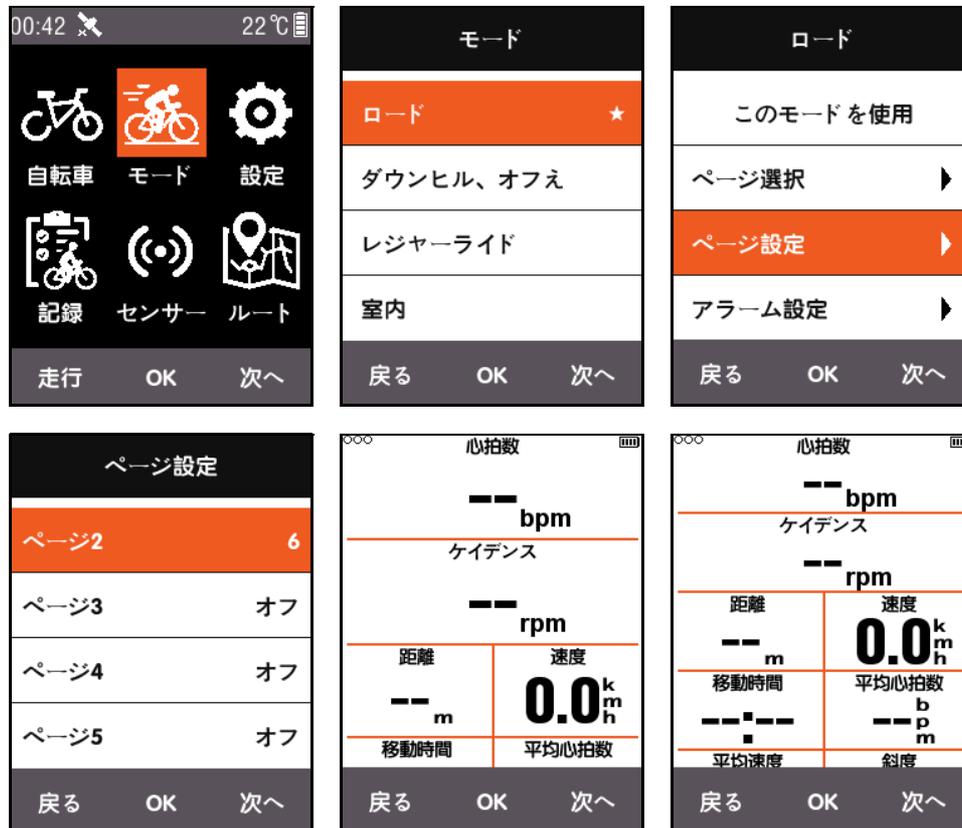
[OK] を押して進み、[ページ選択] を選択します。[OK] を押して、各ページの [オン] および [オフ] を切り替えます。



## ■ ページ設定

ページ設定、[OK] を押して、右のボタン[次へ]を押して、このページで表示されるデータフィールド（1～10）の番号を表示します。

データフィールドを調整した後、[OK] 押して、各フィールドに表示されるコンテンツの設定を入力し、カーソルを移動して変更する、表示されているコンテンツを選択します。



以下は、3番目のフィールド[距離]から[現在の時刻]に表示内容を変更させる例です。ステップごとに説明します。



右のボタン[次へ]を押してカーソルを移動し、[距離]フィールドを選択して[OK]を押すと、[グループを選択]メニューがポップアップし、[その他]を選択します。[OK]を押すと、[機能を選択]がポップアップします。その中から、[現在の時刻]選択し、[OK]ボタンを再び押してセットアップを完了します。



サイクリング画面に戻ると、[現在の時刻]が表示されます。



以下の表は、現在サポートされている情報コンテンツおよびグループです。

グループ	情報コンテンツ		
スピード	<ul style="list-style-type: none"> <li>速度</li> <li>平均速度</li> <li>平均移動速度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最高速度</li> <li>ラップ速度</li> <li>前回ラップ速度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラップ最高速度</li> <li>L.L 最高速度</li> </ul>
リズム	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケイデンス</li> <li>平均ケイデンス</li> <li>最大ケイデンス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラップケイデンス</li> <li>L.L ケイデンス</li> <li>ラップ最大 Cad.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>L.L 最大 Cad.</li> <li>ケイデンスゾーン</li> </ul>
心拍数	<ul style="list-style-type: none"> <li>心拍数</li> <li>平均心拍数</li> <li>最大心拍数</li> <li>ラップ心拍数</li> <li>前回ラップ心拍数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラップ最大心拍数</li> <li>L.L 最大心拍数</li> <li>心拍数ゾーン</li> <li>心拍数 %</li> <li>平均心拍数 %</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最大心拍数 %</li> <li>ラップ心拍数 %</li> <li>前回ラップ心拍数 [%]</li> <li>ラップ最大心拍数 %</li> <li>L.L 最大心拍数 %</li> </ul>
パワー	<ul style="list-style-type: none"> <li>パワー</li> <li>平均パワー</li> <li>最大パワー</li> <li>ラップパワー</li> <li>前回ラップパワー</li> <li>ラップ最大パワー</li> <li>L.L 最大パワー</li> <li>パワーゾーン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パワー 3 秒</li> <li>パワー 10 秒</li> <li>パワー 30 秒</li> <li>パワー %FTP</li> <li>IF</li> <li>NP</li> <li>TSS</li> <li>ワット / kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キロジュール</li> <li>パワー 左 %</li> <li>パワー 右 %</li> <li>左トルク効率</li> <li>右トルク効率</li> <li>左ペダルスムーズネス</li> <li>右ペダルスムーズネス</li> </ul>
距離	<ul style="list-style-type: none"> <li>距離</li> <li>上昇距離</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>下降距離</li> <li>ラップ距離</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前回ラップ距離</li> <li>走行距離</li> </ul>
高度	<ul style="list-style-type: none"> <li>高度</li> <li>斜度</li> <li>垂直速度</li> <li>垂直速度 30 秒</li> <li>上昇 (+)</li> <li>上昇 (-)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最高高度</li> <li>最低高度</li> <li>垂直速度 + 平均</li> <li>垂直速度平均</li> <li>垂直速度 + 最大</li> <li>垂直速度最大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均上り坂</li> <li>平均下り坂</li> <li>最大上り坂</li> <li>最大下り坂</li> </ul>
時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>経過時間</li> <li>移動時間</li> <li>記録時間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均ラップタイム</li> <li>ラップ数</li> <li>ラップタイム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前回ラップタイム</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の時刻</li> <li>日の出時間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日没時間</li> <li>気温</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>GPS</li> <li>精度</li> </ul>
消費カロリー	<ul style="list-style-type: none"> <li>Kcal</li> </ul>		

## 自動機能

### 自動保存

メインメニュー画面の[次へ]を押して、[モード]を選択します。自転車モードを選択して、[OK]を押し、[自動保存]を選択して、現在の[自動保存]設定を表示します。[OK]を選択し、[自動保存]の長さをセットアップします。[オフ]を選択することで、この機能を無効化できます。

[自動保存]がオフの場合、サイクリング画面で中ボタンを押すことで、手動で記録を開始する事ができます。



### 自動停止

メインメニュー画面の[次へ]を押して、[モード]を選択します。[自動停止]を選択して、現在の[自動停止]設定を表示します。[OK]を押して、[自動停止]をセットアップします。[オフ]を選択することで、機能をオフに切り替えることができます。

[自動停止]機能を無効化した場合は、手動で一時停止できます。[手動の一時停止](#)を参照してください。



## ■ 自動ラップ

メインメニュー画面の[次へ]を押して、[モード]を選択します。自転車モードを選択して、[OK]を押し、[自動ラップ]を選択して、場所または距離を有効化・無効化します。



- **場所**：X3 が走行中に同じ場所を通過したことを検出すると、**自動ラップ**機能が適用されます。
- **距離**：デフォルト値に到達すると、**自動ラップ**機能が適用されます。デフォルト距離値は、[**自動ラップ**]メニューで設定できます。



## 自動ページ切り替え

自動ページ切り替えを有効化にすると、サイクリング画面に表示されるページが、設定した間隔で切り替わります。



## 高さページ（高度）

高低差ページ（高度）機能を有効化にすると、走行したルートの上昇描画をサイクリング画面上に表示できます。また、情報ディスプレイエリアおよび表示コンテンツは、[ページ設定]でセットアップできます。



# トレーニング強度の設定

## トレーニング区間

メインメニュー画面の[次へ]を押して、[設定]を選択し、[トレーニング]の[心拍数ゾーン]を選択します。



まず、[最大心拍数]をセットアップします。セットアップが完了すると、5つの心拍数ゾーンに自動的に分けられます。また、各ゾーンで個別にゾーン値を調整することもできます。



**注：** 同じ方法で[パワーゾーン]および[ケイデンスゾーン]をセットアップします。

## アラームの設定

特定の情報にアラームを設定する場合は、[モード]メニューの[アラーム設定]をオンに切り替えます。



心拍数を例にすると、[HRM]アラートが有効化されている場合は、[高Hrmアラート]および[低Hrmアラート]にアラートを個別設定できます。

走行の際に検出された現在の心拍数が、設定したアラート範囲を超えると、X3が警告メッセージをポップアップし、アラートオンが再生されます。



Xplova X3では、以下のアラート音を使用できます。

- 時間：設定した時間（分）を超えた際にアラートが鳴ります。
- 距離：設定した距離（km）を超えた際にアラートが鳴ります。
- カロリー：設定したカロリーを消費するとアラートが鳴ります。
- ケイデンス：設定した回転数（rpm）を超えた際にアラートが鳴ります。
- パワー：設定したパワー（W）を超えた際にアラートが鳴ります。

# ルート

## 過去の経路

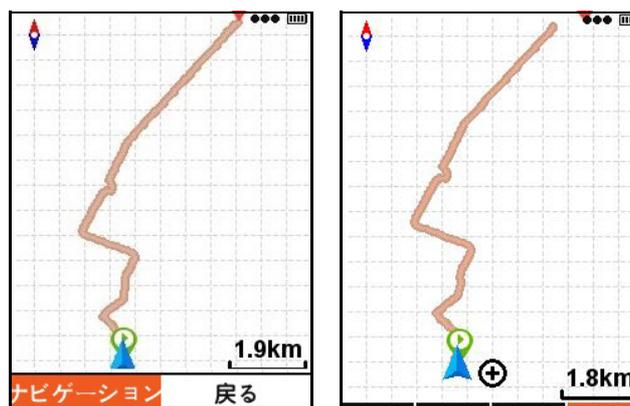
メモリに保存したルート情報を使用することで、ナビゲーション機能を開始できます。メインメニューの[次へ]を押し、[ルート]を選択して[過去の経路]を選び、情報リストを選択して、ナビゲーション機能を開始します。

リストから記録を選択して開くと、記録したGPSトラックのグラフが表示されます。[ナビゲーション]または[戻る]を選び、サイクリング画面下のルートマップページに切り替えます。このページでは、中央ボタンを押すことで、現在のルートの拡大・縮小を行うことができます。



注:

[記録]メニューから記録を開始するとき、[地図]を選択すると、ルート機能を開始できます。



## マイルート

Xplova X3 では、.fit、.gpx、および .tcx 形式でプランニングしたルートがサポートされています。ルートをウェブサイトプランニングした後、USB ケーブルを使用してルート ファイルを、サイクリング コンピュータ上の Xplova Navigation フォルダにコピーします。

X3 をオンにすると、すぐに [ルート]-[経路の計画] にファイルが表示されます。



注：

- ルート ファイル名の長さは半角英数字 28 文字未満（日本語は不可）である必要があります。この文字数を超えると、表示できません。
- <https://www.xplova.com> では、ルートのダウンロードおよびカスタム ルート機能を利用できます。.gpx 形式をダウンロードしてください。

## 走行開始

サイクリング画面に移動すると、ユーザーが走行を開始した際にコンピュータが動作を検出し、記録を開始するかどうかを尋ねるボックスがポップアップします。

記録ステータスでは、赤いライトが画面の右上隅の電源インジケータで点滅します。

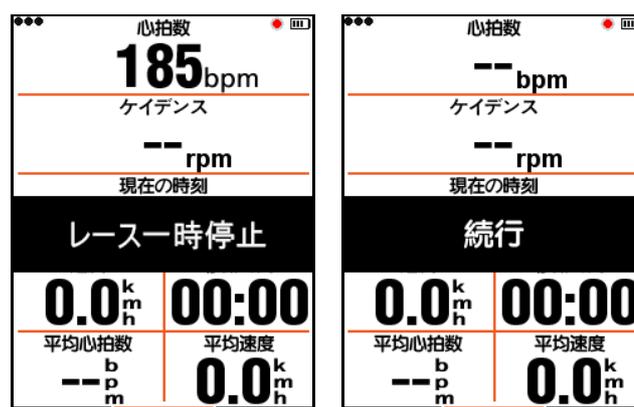
赤いインジケータ



## 一時停止および続行

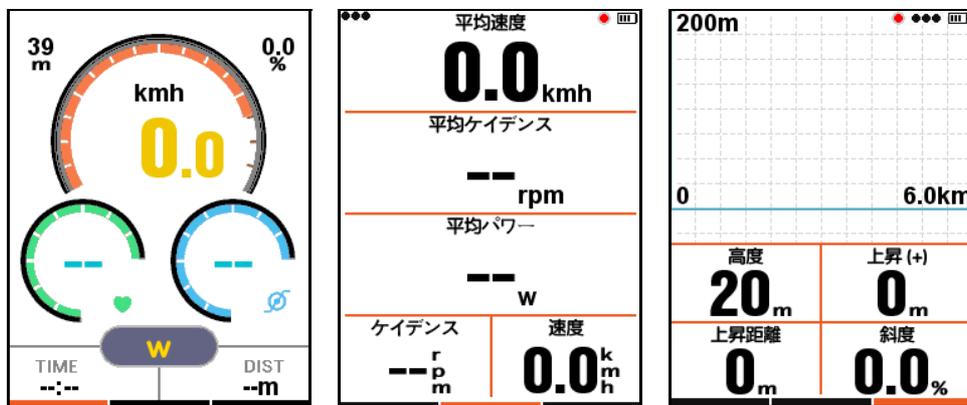
走行が完了すると、コンピュータは、動作が停止したことを検出し、自動的に記録を停止します。走行が一時停止すると、赤いインジケータの点滅が停止し、コンピュータは走行が続行された際に自動的に記録を開始します。

一時停止が手動で行われた場合、中央ボタンを押すことで、記録が続行されます。



## ページの切り替え

サイクリング画面で右ボタンを押すと、ページが切り替わります。画面の下部のインジケータバーは、現在のページを表示します。（ページ設定についての詳細は、走行開始 - ページ選択 および ページ設定）を参照してください。



## ラップ

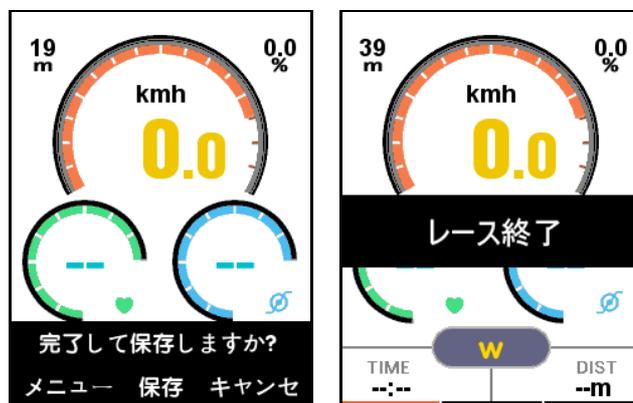
複数のラップの情報を記録できます。記録中の状態で中央のボタンを押すと、新しいラップが開始され、前のラップタイムが表示されます。



## 記録の終了

走行の記録を終了する場合は、左ボタンを押すことで、「完了して保存しますか？」がポップアップします。中央ボタンを押して、走行を保存して終了します。

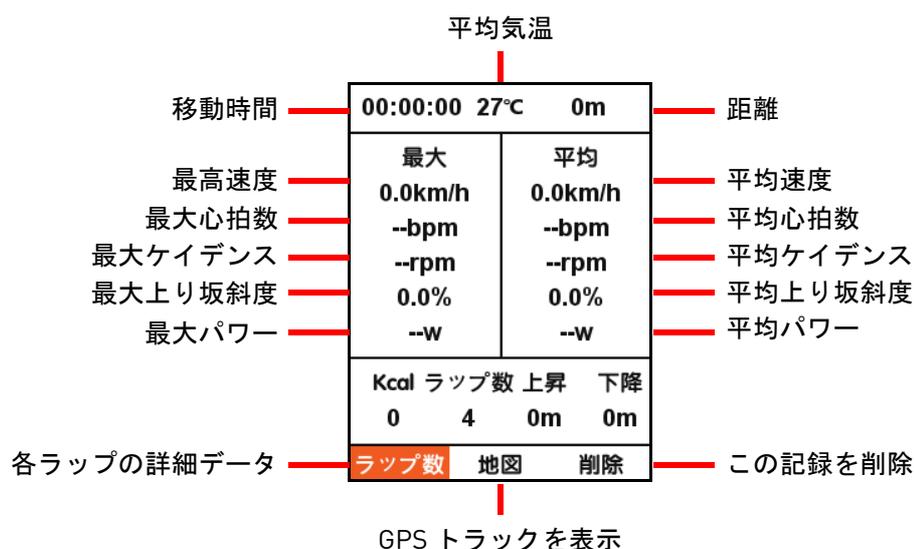
走行が終了すると、右上の画面の赤いインジケータが消えます。記録中にコンピュータの電源を直接オフした場合、記録は自動的に保存されます。



## アクティビティの表示

走行が終了した際には、コンピュータで[保存したログ]を表示することができます。

1. 左ボタンを押して、メインメニュー画面に戻ります。
2. メインメニュー画面で[次へ]を押して、[記録]を選択し、[OK]を押して、[保存したログ]を選択します。
3. [最後のログ]を選択することで、最後の走行記録を直接表示することや、[全てのログ]を表示することができます。



画面の下部では、3つのメニューアイテムとともに概要情報が表示されます。

- [ラップ数]を選択し、このアクティビティ（右ボタンを押してラップの隣に切り替え）の情報を表示します。
- [地図]を選択して、このアクティビティのGPSトラックを表示し、ナビゲーション機能を開始します（ナビゲーション機能の詳細情報については、[その他機能セクション](#)を参照してください）。
- [削除]を選択して、この記録をメモリから削除します。

## 走行データのアップロード

走行情報のより詳細な解析を行う場合は、Xplova Connect または USB を使用して、解析用のウェブサイトへ記録をアップロードすることができます。

### ■ Xplova Connect アプリのダウンロード

スマートフォンでアプリストア (Google Play や App Store) を開き、「Xplova Connect」を検索し、その後、アプリケーションをダウンロードして、インストールしてください。

あるいは以下の QR コードをスキャンすることで、ダウンロードすることができます。



### ■ Xplova Connect アプリからのアップロード

1. メインメニュー画面上の [センサー] を選択して、[OK] を押し、[センサー] に移動して、[次へ] を押し、[Bluetooth ステータス] を見つけます。[OK] を押し有効化します。
2. お手持ちのスマートフォンで Xplova Connect アプリを起動します。X3 は、アプリでスキャンできます。
3. 接続が成功した、アプリを使用してデータをアップロードできます。



#### 注：

X3 が長時間にわたり検索中となり、接続の表示を行えない場合、システムにより Bluetooth が自動的にオフに切り替わります。

Bluetooth でのデータの転送には時間がかかりますので、ご了承ください。(3 時間のデータで十数分ほどかかります。)

### ■ USB からのアップロード

X3 の電源が切れている状態で、コンピュータに USB 接続してください。電源ボタンを押す (短押しする) と、コンピュータはストレージ デバイスを自動的に検出します。保存したすべての記録 (.fit ファイル) は、デバイスの Xplova\Activities で表示できます。このファイルを選択し、解析用のウェブサイトへ記録をアップロード可能です。

# その他機能

## モード切り替え

デフォルトのシステムには5モードあります。ロード/ダウンヒル、オフエ/レジャーライド/室内/トレーニング。

[モード]メニューで適切なモードを選択します。使用しているモードは、★シンボルでマークされます。



5つのデフォルトモードに加え、3つのカスタムモードがサポートされています。

[モード]メニューの[新規追加]を使用して、カスタマイズしたモードを作成します。

[モード]メニューの各設定は、モードに対応しています。モードが切り替わると、そのモードの設定すべてがロードされます。



## 新規自転車の追加

[自転車]メニューの[新規追加]を押して、新しい自転車を追加します。



新しく追加した自転車を選択し、[この自転車を使う]を選び、新しい自転車の設定をロードします。



**注：**  
使用している自転車は、★シンボルでマークされます。

自転車2		自転車	
この自転車を使う		自転車1	
名前	自転車2	自転車2	★
重量	10.0kg	新規追加	
ホイールサイズ	2096mm		
戻る	OK	次へ	
		戻る	OK 次へ

## 節電オプション

### 自動電源オフ

メインメニュー画面で[次へ]を押して、[設定]を選択し、[OK]を押して、[自動機能]-[自動電源オフ]を選択します。[OK]を押して、[オン]、[休止]、[オフ]を切り替えます。

- オン：5分間のスタンバイの後に電源をオフにします。
- 休止：5分間のスタンバイの後に休止ステータスに切り替わります。X3をシェイクして画面を復帰します。
- オフ：この機能をオフにします。

07:13 26°C	設定	自動機能
自転車 モード 設定	自動機能	自動電源オフ 休止
記録 センサー ルート	その他機能	自動スタンバイ オン
走行 OK 次へ	デバイスをリセット	
	端末について	
	戻る OK 次へ	戻る OK 次へ

## 自動スタンバイ

メインメニュー画面で[次へ]を押して、[設定]を選択し、[OK]を押して、[自動機能]-[自動スタンバイ]を選択します。

[自動スタンバイ]機能が有効化されると、ディスプレイ画面およびGPSが2分間のスタンバイ後に自動的にオフになります。X3をシェイクすると復帰します。



## GPS 節電モード

メインメニュー画面で[次へ]を押して、[設定]を選択し、[OK]を押して、[GPS]-[節電]を選択します。

節電は、[スマート]、[オン]、または[オフ]に設定できます。

スマートモードは、実際の使用状況によって、自動的にスタンバイモードのオン/オフを切り替えます。



節電が、[スマート]または[オン]に設定されていると、GPSの電源消費が効率的に低減し、バッテリー寿命が延びます。



注：

節電が[オン]に設定されていると、GPS速度およびポジショニングの精度に影響が起ることがあります。

## 手動の一時停止

メインメニュー画面で[次へ]を押して、[設定]を選択し、[OK]を押して、[その他機能]-[ラップ機能]を選択します。

ラップ機能が[はい]に設定されている場合は、[一時停止]機能を手動でオンにできます。X3が記録を開始した際に、中央ボタンを押して、タイマーの一時停止または再開を行うことができます。



## センサーからの速度

メインメニュー画面で[次へ]を押して、[設定]を選択し、[OK]を押して、[その他機能]-[センサーからの速度]を選択して、[はい]に設定します。

システムは速度データの基礎として、スピードセンサーか、GPSを使用する事ができます。



## 充電について

1. DC5V 標準の USB 充電器をご利用ください。バッテリーは、3 時間以内に完全に充電されます。
2. システムがオンの状態でも充電可能です。
3. 注意して USB ポートから天候キャップを注して外ししてください。防水・防塵機能に影響がありますので変形や破損を避けてください。

# X3 ファームウェアのアップグレード

**注：**

特別な目的がない限り、X3 のファームウェアのアップグレードは推奨されません。必要な場合は、特別な注意を払い、以下の説明に従ってください。

## ファームウェアの入手

1. Xplova のウェブサイトから最新版のファームウェアをダウンロードします。
2. 適切なファイルをダウンロードするようにしてください。アップグレードを行う際には、同じハードウェアバージョンのファームウェアのみを使用してください。

## お使いのコンピュータと X3 を接続します

1. 電源ボタンを押して X3 をオフにします。
2. Micro USB ケーブルで、お使いのコンピュータに X3 を接続します。
3. 電源ボタンを短く押します。バッテリー充電アイコンが画面上に表示され、コンピューター上にフラッシュドライブが表示されます。
4. コンピューター上のフラッシュドライブにファームウェアをコピーします。
5. コンピューターから X3 を切断します。

すると、X3 は自動的にアップグレードを開始し、アップグレード処理が終了すると自動的に再起動します。



# 仕様

GPS	GPS+ 北斗 /GPS + GLONASS デュアル衛星ポジショニング
ディスプレイ スクリーン	2.2 インチ LCD カラー ディスプレイ、解像度 240x320
動作可能気温	-10°C~40°C
製品寸法	53.5x85x23.5 mm
受信アンテナ	格納式
高度センサー	気圧高度計
温度センサー	対応
防水定格	IPX6
メモリ	最大 700 時間の履歴（メモリ ストレージの使用率による）
バッテリー	リチウム電池は取り外さないでください。バックライトがオフの際には、20 時間の継続使用が可能です。使用時間を効率的に伸ばすには、GPS 節電モードを開始するか、最も低い輝度を使用することをお勧めいたします。
ANT+ をサポート	HRM チェストベルト、速度センサー、ケイデンス センサー、コンボ（速度およびケイデンス）、パワーメーター
インターネット接続	Bluetooth 4.0 BLE
標準アクセサリ	Xplova X3 スマートサイクリング コンピュータ、Micro-USB ケーブル、バイク マウント x2、ゴムパッド x2、ゴムバンド x4、保証書、クイックスタートガイド



## 注：

この情報は参考目的のみであり、予告なく変更されることがあります。最新の仕様は、当社の公式ウェブサイトをご覧ください。

# 安全に関するご注意

この製品のカバーを開けたり、外したりすると、危険な電圧が流れていたり、その他の危険性があるため、絶対にお客様ご自身でコンピュータを補修しないでください。補修が必要な場合は、販売代理店等、専門のサービス担当者にお問い合わせください。

次のような場合は、この製品をコンセントから外し、専門のサービス担当者に補修を依頼してください：

- 電源コードまたはプラグが破損、擦り切れ、磨耗している場合。
- 製品に液体がこぼれた場合。
- 製品が雨や水に濡れてしまった場合。
- 製品が落下した、またはケースが破損した場合。
- 製品の性能が著しく劣化した場合、または補修の必要性が示されている場合。
- 操作の手順に従っても、製品が正常に作動しない場合。
- 電源コードをはずすときは、コードではなくプラグを持ってはずしてください。
- この装置は、表記ラベルに示されたタイプの電源を使用する必要があります。

## バッテリー情報

- バッテリーは正しく取り扱わなければ爆発する危険性があります。バッテリーを解体したり、火の中に投げ込んだりしないでください。
- 燃やしたり解体したりしないでください。子供の手に届かないところに保管してください。
- 使用済みのバッテリーを破棄する場合は、お住まい地域の規定に従ってください。
- 本製品はリチウム イオン電池を使用します。湿気の多い場所、濡れた場所、あるいは腐食性のある環境では使用しないでください。
- バッテリーは熱源の近く、高温になる場所、直射日光が当たる場所、オーブンレンジ内、あるいは密封パック内の中に置いたり、保管したり、放置したりしないでください。また 50°C (122°F) 以上の環境に放置することもお止めください。
- これらの注意に従わなければ、バッテリーから酸が漏れ出し、高温になったり、爆発、発火するなどしてケガや損傷の原因となります。バッテリーに穴を開けたり、開いたり、解体したりしないでください。
- 漏れ出したバッテリー液に触れてしまった場合は、水で完全に液を洗い流し、直ちに医師の指示を仰いでください。安全のため、またバッテリーを長くお使いいただくために、0°C (32°F) 以下または 40°C (104°F) 以上の環境では充電を行わないでください。
- 新しいバッテリーは 2、3 回完全な充電と放電を繰り返した後でなければ完全な性能を発揮しません。バッテリーは数百回充放電を繰り返すことができますが、最終的には消耗してしまいます。作動時間が著しく短くなったときには、新しいバッテリーに交換してください。バッテリーは認証されたものをご使用になり、充電の際も本製品専用の充電器のみをご使用ください。
- 破損した充電器やバッテリーは絶対にご使用にならないでください。バッテリーをショートさせないでください。バッテリーはコイン、クリップ、ペンなどの金属製品がバッテリーの陽極と陰極に直接接触するとショートします。(バッテリーについている金属片のようなものが極です。)

- **バッテリーの交換**

不適切な交換や誤った取り扱いを行うと、バッテリーが破損することや、オーバーヒートし、ケガにつながる場合があります。または、火災や爆発の恐れがあります。製品情報については、ユーザー マニュアルを確認してください。

- **内蔵バッテリー付きデバイス**

内蔵バッテリーは、認定されているサービス センターが交換する必要があります。絶対にお客様ご自身で交換または取り外ししないでください。